



大町市の企業紹介③

―地域を支える地方企業―

毎月1日号の広報おまちで、市内の企業を紹介しています。原稿は各会社から提出いただいた原稿を基に掲載しています。また、掲載を希望する企業は、商工労政課(TEL内線541)までご連絡ください。

アルプスウォーター株式会社

日本一美味しい水を求めてこの大町にたどり着きました

当社は、北アルプスの天然水から生まれたピュアウォーター「アルピナ」を製造している会社です。販売は親会社の株式会社トーエル(横浜市)が行っています。株式会社トーエルは、LPガス販売を目的に昭和38年に創業しました。首都圏に11カ所の供給拠点を配し、LPガスと水の販売を通じて、約50万世帯の生活に密着したライフライン事業に携わっています。水事業は平成14年、太平洋の真ん中の自然環境に恵まれたハワイウォーターを輸入・販売したのが始まりです。さらなる幅広い需要層の開拓を目的に、国産ピュアウォーターの販売を計画。日本一おいしい水を求めて自然環境に恵まれた北アルプスの麓、ここ大町にたどり着きました。「アルピナ」大町工場を平成18年9月に建設、そこで生まれた「アルピナ」は日本一おいしい北アルプスの湧水をRO(逆浸透膜ろ過方法)で1/1、000ミクロンの超微粒子の膜を通し、分子レベルまで磨き上げたピュアウォーター(純水)です。平成19年10月には「アルピナ」の直

販と、OEM(相手先ブランド)からの受注増加に対応するために、大町工場を既存の3倍の規模に増設しました。

北アルプス・大町の大自然から生まれた、人にも環境にも優しい商品「アルピナ」を、大町市の代表的な製品に発展していくよう精進します。



- 所在地等 大町市平26651番地5 TEL233-608008 会社ホームページ (本社・株式会社トーエル) <http://www.toel.co.jp/>
- 代表者 代表取締役 山下昌利
- 事業内容 清涼飲料水の製造

昭和電工株式会社 大町事業所

人造黒鉛電極の生産を通じて社会への貢献を!

昭和電工(株)大町事業所は昭和9年、日本で初めてアルミニウムの製品化に成功し、さらに昭和13年には人造黒鉛電極の製造を開始しました。その後長きにわたり、アルミニウムと人造黒鉛電極の2本柱で操業してまいりましたが、オイルショックの影響を受け、昭和57年にアルミニウム製造から全面撤退し、現在に至っています。

「人造黒鉛電極」は、鉄のスクラップを溶かして再生する電気炉で使われ、私たちの社会に欠かせない「鉄」のリサイクルに大きな貢献をしています。

本事業は、高い技術力とコスト競争力のもと、大口径電極分野において、世界のトップシェアを確保しています。また、関連技術を生かし、燃料電池用カーボン材やリチウムイオン2次電池用負極材の開発・製造にも力を入れていきます。

当社は3水力発電所(青木・常盤・広津)を有しており、これが電極事業の競争力に大きく寄与しています。さらに当社導水路を通じて分水された水は、地域のかん

がい用水、生活用水などにも活用されています。今後も、事業所見学会・アルミ缶回収活動・事業所周辺清掃などを通じて、地域社会との関わりを大切にしてまいります。



- 所在地等 大町市大町6850番地 TEL222-0401 会社ホームページ <http://www.sdk.co.jp>
- 代表者 事業所長 水野義治
- 事業内容 人造黒鉛電極その他炭素製品製造